

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 7 月 18 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3891400032		
法人名	株式会社 たかちほ		
事業所名	グループホーム 明浜館		
所在地	西予市明浜町高山甲688番地 (電話) 0894-64-0302		
管理者	土居 京子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 6 月 25 日	評価確定日	平成 20 年 7 月 23 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 20 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 13 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 8.4 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有( )円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 20 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	6 名	要介護 2	5 名
要介護 3	3 名	要介護 4	4 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 83.7 歳	最低 71 歳	最高 93 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

宇和海の山手に位置し、窓から眺める山々の緑や穏やかな海は、季節や優しい時間の流れを感じる。ホームは、バリアフリーの木造で温かさや馴染みやすさを醸し出している。一人ひとりを尊重する姿勢と明るい職員のケアは、安堵に満ちた表情や笑顔の源になっている。職員は、利用者から人生の先輩として学ぶことが多く、感謝の心を忘れることはない。全職員が仲良く助け合い、やりがいをもってケアにあたっていることが、利用者の安心した笑顔からもうかがえる。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

今回は初の評価のため、前回評価及び改善課題の取り組みは行っていない。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

管理者は、自己評価の取り組みにおいて、職員を見守り育成することを重視し、評価の意義や内容について困った時には手助けする方法をとっている。職員は悩みながらも意見を出し合ってまとめあげ、管理者が補足している。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議には、利用者本人・家族・民生委員・市担当者などが出席し、ホームの説明・現状報告・要望や意見交換等がなされている。詳細に記録を残しているため、いつでも再確認することができ、内容は全職員に報告している。今後も地域に開かれたサービスが展開できるようさらなる取り組みが期待される。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

苦情相談窓口の所在地・連絡先・対応時間などを分かりやすく重要事項説明書に載せ、本人及び家族に説明している。職員は、苦情や意見を傾聴することに努め、対応に取り組んでいる。改善策を運営推進会議で討議することもある。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域の一員として、井戸端会議が行われるほど開かれたホームを目指している。地域との関わりは日々進められ、気分転換の散歩であいさつを交わしたり、近隣の方から季節の作物を届けてもらったりするなど、交流を図っている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム明浜館

(ユニット名) 北ウイング

記入者(管理者)  
氏名 土居 京子

評価完了日 平成 20 年 5 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所独自の理念があり、提示して職員にも意義付けし、毎日のケアに生かされるようにしている。  (外部評価) 「人生の最終ステージを安心と尊厳のあるものにするため、その人らしく生き生きと暮らせるようにするため、私たちは力を尽くしたい」と理念に掲げ、「地域との関わりを持ちたい」との思いで、日頃から機会を捉えて取り組んでいる。	※	理念を基本に職員一人ひとりが目標をもっていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を提示し、又、毎月の職員会議等でも常に理念について話をする。  (外部評価) 人間としての尊厳を軸に、運営者・管理者・職員は理念をよく理解し、共有している。自然にあふれる笑顔は一人ひとりの思いの尊重であり、職員の喜びに繋がっている。	※	問題が起こった時や、行き詰った時、プラン作成時に、理念を基に考える。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入居契約時、運営推進会議、家族会等に話している。	※	これから広報紙などを発行し、理解を広めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 買い物、散歩、病院受診時、地域の方々に積極的に挨拶や会話をしている。みかんの最盛期には、よくいただいた。	※	ホームにも寄ってもらえるよう声掛けしていく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭、運動会、文化祭などに参加している。地方祭のときはホームの庭でお練を披露していただく。	※	推進委員の方々にも協力いただき、交流を深めていきたい。
			(外部評価) 地域の一員として、祭り等の地域行事に積極的に参加し、保育園や小学校との交流も行っている。近隣の方から季節の野菜や果物が届けられることもある。	※	地域に溶けこんでいくには時間を要するが、管理者を中心に一歩ずつ付き合いを深めていく取り組みで土台を作り、さらに広がりを持たせていくことを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 取り組めていない。	※	運営推進会議の時、できることがあれば協力させてほしいと、お話している。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 今回は初めての自己評価である。	※	評価内容を理解し、皆で話し合っていく。
			(外部評価) 管理者は、職員を見守り育てる姿勢を保ち、初めての自己評価に全職員が取り組み、意見を出し合ってまとめあげている。意義の理解等が難しい項目については管理者に尋ね、内容を理解した上で行っている。	※	各項目のねらいや活用方法などを、実践の中でサービスの質向上に結びつけていくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議の内容は、その都度聞いており、サービス向上に取り組んでいる。  (外部評価) 利用者が生き生きと過ごすための役割探しについてや、地域と密な連携をとるための内容等についても討議し、会議録に残しており、有効に取り組んでいることが伺える。	※	利用者、家族にも意見を聞きサービス向上に生かしていきたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 介護相談員さんと話し合い意見を聴いている。  (外部評価) 市担当者とは、運営推進会議やその他さまざまな機会を捉え、サービス向上に関する協議を行う等、連携を深めている。また、防災部局とも防災対策について連絡を取り合っている。	※	質の向上の為に、取り組んでいきたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 必要としている入居者さんがおり、今勉強している。	※	研修していく。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 毎月の職員会議に具体例を出して話し合い、ホーム内で虐待が見過ごされることがない様、注意を払い防止に努めている。	※	虐待の意味をきちんと把握して、入居者さんが過ごしやすい環境をつくっていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 一度では納得できないこともある為、面会時や電話等で話し合っている。	※	お互いが理解・納得出来るよう、これからも対話の機会を多く作っていききたい。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 馴染みの関係が出来つつある此の頃になって、言いたいことを言ってもらえるようになった。言葉で表現できない方は、日常の生活場面の中での表情から判断するようにしている。	※	時間をかけて接していききたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 定期的に来られるご家族にはその都度報告し、なかなか帰省できない方には手紙や電話で報告している。  (外部評価) 家族会は結成されていないが、ホームが中心となって家族の会を催し、暮らしぶりなどを報告している。来訪時には声かけをしたり、状況を手紙や電話でも知らせている。	※	これからもこまめに報告し、連携をとっていききたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に苦情受付箱を設置、重要事項書にも連絡先を記載し説明をしている。  (外部評価) 管理者及び職員は、家族が意見や苦情を相談しやすい雰囲気づくりに努めている。苦情を真摯に受け止め、内容によっては運営推進会議で慎重に討議し、全職員で共有・徹底している。	※	直接言っていた。職員会議や推進会議に報告し、改善を図っている。何でも話し合える関係・環境を作っていく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会議で話し合うようにしている。	※	何でも話し合える関係をつくっていききたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来る限り努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努力はしているが、困難な時もある。  (外部評価) 開設から約1年が経過したばかりで、現在のところ職員の異動はない。開設1か月目に離職はあったが、職員の声かけ等で利用者への影響を抑えるよう工夫している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 開設時の職員は、法人内で一ヶ月の研修をしたがそれ以降はしていない。  (外部評価) 管理者は、職員の育成に対して深い理解と情熱を持っており、グループホーム連絡協議会の研修等、各職員にふさわしいテーマの研修会への参加を勧めている。受講後は、研修内容を全職員で共有できるよう報告している。	※	グループホーム協会の研修も利用していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) していない。		
			(外部評価) 同法人が運営するホームとの交流を行ったことはあるが、他法人のグループホームとの交流は今のところ行われていない。	※	外部研修に参加した機会等を捉え、他ホームとの交流に少しずつ取り組んでいくことを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 年二回の食事会を提供し、親睦を深める。毎月の職員会時にも、お茶を飲みながら話合っている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 資格を持っている職員には、手当てを支給し、さらに上の資格を目指すようアドバイスしたり、研修の参加を勧めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居されて落ち着いた頃からきいている。	※	家族と話し合い出来るだけ、ご本人さんの気持ちを聞いてもらうようにしていく。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 出来る限り努めている。	※	一方的な関係にならないよう何でも言ってもらえる関係作りをしていく。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 他のサービスを利用したことはない。	※	家族と話し合いながら、柔軟な対応をしていきたい。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 無理強いせず、本人が何をしたいか、どうしたら生き生きとされるかを一番に考えている。  (外部評価) 在宅時にどのような生活を送っていたか等を家族から聞き取り、利用者がホームに馴染めるよう努力している。また、ホームを利用するにあたって宿泊の体験を行うこともある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 毎日の暮らしを共にする中で、地区の行事・風習を教えてもらったり、調理方法を習い、していただいたことに感謝するよう留意している。  (外部評価) 人生の先輩である利用者から、季節の野菜についてや伝統料理など教わることも多い。職員は地区の盆踊り・祭り・方言・ことわざ・歴史などについて、利用者一人ひとりを生き字引のごとく思っており、感謝の言葉を伝えながら、互いに支えあっている。	※	人生の先輩であることを常に頭に入れて、寄り添っていきたい。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の要望をしっかり受け止めている。毎日の生活状況を細かく説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会に来られたら一緒に食事ををしてもらったり、誕生会には共にお祝いしていただく。外出・外泊も勧めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 理・美容院の介助や馴染みの店への買い物等、体調・天候に合わせて支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) お互い、気が合わないときは個別に対応する。お茶や食事の時は楽しく過ごせるよう支援する。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 電話をかけたたり、手紙を出して近況を伺っている。入院された方にはお見舞いに行く。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> <b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎日の言動から把握し、出来るように心がけているが、意思疎通が困難な方は難しい。  (外部評価) 混乱することがないように、落ち着いた状態を維持する余裕がみられる。楽しい会話と笑顔、歌声などで利用者が落ち着けるよう努め、利用者一人ひとりの希望や意見を把握している。	※	困った時は、理念に基づいて話し合う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 毎日の会話の中から、又家族のからの情報で把握する。	※	アルバムを持ってきてもらう。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日の言動、動作、会話から把握するようつとめている。	※	申し送りノート等利用し、スタッフ間の情報の共有に努める。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 毎月の職員会議には皆で話し合い、状態によっては適宜対応したプランにたてかえ、家族の了解を得る。  (外部評価) 理念の中の「尊厳」・「安心」・「生き生きと暮らす」などを日々忘れることなく、一人ひとりの希望が叶う介護を目指すという目的にそった計画作成に取り組んでいる。家族の思いも十分に聞いたうえで取り入れている。	※	本人さんも出来る限り参加してもらう。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 毎月20日の職員会議ではなしている。健康状態や精神状態等、家族や医師とも連携をとり適宜対応している。  (外部評価) 健康状態の変化による見直しは勿論であるが、小さな変化や意向も見逃すことなく確認し、期日を待たないで見直しの検討を行うこともある。	※	これからも密に連絡を取っていききたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日個別に記録し、朝夕の交代時に申し送りして、介護計画の見直しにも生かしている。	※	記録に時間をとり過ぎないように工夫していきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 終末期の支援、外出の支援、理・美容の支援等できる限り家族の要望に応じている。  (外部評価) 「墓参りに行きたい」「衣替えの服を取りに帰りたい」「池の鯉が気になるので見てきたい」「デイサービスの利用者に会いたい」などの様々なニーズにも、臨機応変に対応している。	※	柔軟なサービスを心がけていく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) まだ協体制度がとれていない。	※	教育機関との協力を考えていきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特に活用していない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特に活用していない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 家族の要望をしっかり受け止め、適切な医療機関への受診介助をおこなっている。  (外部評価) 協力医療機関以外の受診については、家族に受診をお願いしている。尿・血液検査は月1回行っている。	※	今のまま続けていきたい。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけの医師に相談している。	※	家族と医師と連携をとっていきたい。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) デイサービスのNSやかかりつけ医院のNSに相談に乗ってもらっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 家族の負担を軽減する為にも、早期退院できるよう頻回に面会し情報を交換している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 今まで一例しかないが、家族、医師との連携がとれ、職員も共有できた。  (外部評価) マニュアルは作成していないが、家族の意向を確認し、希望があればホームで終末期を迎えられる体制を整えている。実際に看取りの経験もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の気持ちを尊重し、医師との連携をとり、出来ることを支援していく。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換につとめる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価) 毎月の職員会議で話し合い、反省すべき事等出し合い、プライバシーを損ねることが無いように徹底を図る。  (外部評価) 言葉の内容、語調には気をつけている。利用者のプライバシーが漏れることのないよう、全職員への徹底が図られている。	※	繰り返し話し合う
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人に合った声かけをし、無理強いをしない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 体調を把握し、一人ひとりのペースを尊重している。  (外部評価) 「ホームに居て楽しい」「こうすれば落ち着いて過ごすことができる」「いくつになっても役割や自分の仕事があると思える」よう、一人ひとりの個性を大切に、柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 白髪染めやパーマかけに行く方は、地元の店に行かれる。家族の希望で他の方はスタッフが対応している。混乱する方以外は本人の意思で更衣される。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節感を出す献立を立てている。誕生日は本人の希望を聞いてお祝いする。個々にあった手伝いをしてもらい、感謝を伝える。  (外部評価) 食事は全員同じものを取っており、形態も力に応じて配慮している。調査時に、利用者が昼食のカレーライスに使うじゃが芋の皮むきをしている場面に出会ったが、食事の準備や後片づけなど、できる人が自然な流れの中で取り組んでいる。	※	頂き物があつたり、利用者さんの意思で献立は変更する。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒を楽しむ方は現在お一人だが、医師との連携をとっている。10時、15時に好きな飲み物やお菓子をたべてもらう。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 紙パンツを使用している方はあるが、全員トイレでの排泄を心がけている。更に普通の下着になるよう努力している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者全員の希望を取り入れ、公平になる様にしている。  (外部評価) 入浴を拒否する利用者もいるが、寛いだ気分でゆっくり入浴してもらえるよう、職員の声かけ等を工夫して対応している。毎日の入浴が可能で、職員数が揃っている時間帯に支援している。	※	毎日入りたい方が、多い。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) こまめなシーツ交換を行い清潔な寝具で気持ちよく休んで頂く様にしている。	※	無理強いはいしない。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意とする仕事を提供し、役割作りの支援をする。散歩や買い物、催し物の参加で気晴らしの支援をする。  (外部評価) 男性でも進んで役割がこなせるよう、運営推進会議でも討議している。玄関外にベンチを出し、景色を眺めながら季節を感じることもできる。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望される方は所持してもらっている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩、買い物に馴染みの店に行ったり、ドライブを楽しむ。  (外部評価) 初詣、花見、紅葉狩り等外出を支援している。かかりつけ医への受診は徒歩で出かけ、帰りに買い物に行くこともある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族と旅行をされた方はあるが、ホーム側から機会を作ったことは無い。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙は困難だが、電話は利用されている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) どなたが来られても歓迎する。ゆっくりしていただける様おもてなしする。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員会議等で日々のケアをふり返り、無意識の内に身体拘束が行われていないか話し合っている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵は掛けていない。利用者が外出したい時はさりげなく声かけし付き添う。  (外部評価) 20時まで鍵はかけていない。台所・食堂・居間が一体化した間取りになっているため利用者の動きの把握がしやすく、職員は安全には十分配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の状況を確認出来る位置で作業を行い、何かあった時にすぐに対応できるように、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 果物ナイフ等は預かっている。洗剤等は手の届かない場所に保管している。洗濯が出来る方にはその都度スタッフと一緒に使用してもらっている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットの記録を生かし大きい事故につながらないようにする。救命救急の講習を受ける。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員全員が初期対応できないが、あわてないよう医師や管理者と連絡をとり、指示を受けるようにしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) まだ協力体制がとれていない。  (外部評価) 管理者はグループホームの勤務歴が長く、認知症の対応には熟達しており、今までの経験を活かした訓練を計画している。特に夜間時の対応においては、運営推進会議にて地域の協力を求めていく予定である。	※	毎月訓練を行えるようにしたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) なるべく自由に過ごしてもらいたいが、リスクも高くなることを家族に説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、入浴前のバイタルチェックを行う。いつもと変わったところがあれば、かかりつけ医に受診する等の対応を心がけている。	※	申し送りノートの活用。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬状表は個々の記録に綴じて、いつでも確認出来るようにしている。薬が変わった時は全員が周知するよう申し送る。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便の有無をチェックしている。便秘傾向の利用者には水分補給・繊維の多い食物等を提供するも、適宜服薬の介助もする。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に合った支援を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) バランスの良い献立を立て、糖尿病の方には薄味の工夫をする。毎食に汁を付け、おやつ時と入浴後はしっかり水分を取ってもらっている。  (外部評価) 献立は法人内の管理栄養士にチェックしてもらい、アドバイスを受けてバランスのとれた内容になるよう努めている。水分補給については、記録や申し送りにより職員間で情報を共有している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) こまめに手洗い、うがいをする。嘔吐・下痢が起きた場合はマニュアルに従い処理し、二次感染を防ぐ。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 野菜、肉、魚は新鮮なものを配達してもらい、なるべく熱処理をしている。台所の整理整頓を心がけ清潔保持に努める。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 置物を置いたり、季節の飾りつけをし、あたたかい雰囲気になっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 散歩の途中で摘んだ花を飾ったりしている。  (外部評価) 生活時間の大部分を過ごす居間の天窓には、優しい色のカーテンが飾られている。食卓には季節の花を飾り、季節を感じる工夫がある。心地よい空間の中で、職員は利用者の目線まで腰を落として会話を楽しんでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) お互いの部屋を行き来し、仲の良い利用者同士でくつろげる支援をする。部屋に入られたら自由に過ごしてもらう。	※	必要以上の口出しはしない。マイペースに過ごしていただく。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 備え付けのベッドやたんすがある。少しずつ小物で飾られたり家具を運ばれてきている。  (外部評価) 職員が居室に入室する際は、必ず本人に了解を得ている。冷蔵庫・テレビ・装飾品など、それぞれ必要な物、大切な品が家族の協力を得て持ち込まれており、居心地のよい居室で落ち着いて生活している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 室内は常に換気扇が回っており、適宜窓を開け換気をしている。個人に合わせて温度調節している。排便時は、消臭剤で対応する。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 浴室、廊下に手すりを設置している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 本人にとって、何が分りにくいのか、どうしたら本人の力でやっていただけるのかを追求し、状況に合わせて環境整備に努める。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭に花を植えたり、プランターで野菜を育てる。		洗濯物や布団を干してもらおう。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	帰宅願望がある方や、訴えのある方は分るが、意思表示の出来ない方は掴んでいない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	お茶の時間や、食事時、食後等短時間の時もあるが、いろいろ話題を提供したり、歌を歌ったりする。日向ぼっこもする。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	無理強いせず、一人ひとりのペースに合わせるように心掛けている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個々の好きなことを把握し、対応して生き生きとした表情や姿が見られるように心掛けている。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	散歩など、出かけられる方は行けるが身体的理由によって行けない方もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	かかりつけ医と連携がとれており、異常がある時は直ぐに対応してもらっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	話を傾聴し、納得のいくようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	面会時にはしっかりと聴くようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	今のところ殆どないが、今後来てもらえるように働きかけたい。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	これからだと思う。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	夜勤が一人なので、精神的負担が大きい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの要望にしっかり応じていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	安心していますと、言われる。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

常に笑顔を忘れず、利用者を家族と思い、一緒に笑ったり、泣いたりしながら支援していきます。いつまでも明浜館で暮らしていただきたい。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム明浜館

(ユニット名) 南ウイング

記入者(管理者)  
氏名 原添 照子

評価完了日 平成 20 年 5 月 20 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居されている方がその人らしく、尊厳を持って過ごすことのできるような理念を柱にしている。  (外部評価) 「人生の最終ステージを安心と尊厳のあるものにするため、その人らしく生き生きと暮らせるようにするため、私たちは力を尽くしたい」と理念に掲げ、「地域との関わりを持ちたい」との思いで、日頃から機会を捉えて取り組んでいる。	※	今後は地域密着型サービスとしての、役割を踏まえた理念を作っていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎月の職員会議、ケアプラン作成時のカンファレンス等で話し合っている。  (外部評価) 人間としての尊厳を軸に、運営者・管理者・職員は理念をよく理解し、共有している。自然にあふれる笑顔は一人ひとりの思いの尊重であり、職員の喜びに繋がっている。	※	もっと噛み砕いたもので、目標を決めて取り組むのもいい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関に貼り出し、家族や地域の方々に理解してもらえるように努力していく。	※	広報誌等作って、理念を記載し理解してもらおう。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 人家から離れているが、散歩時や受診時に出会う方に挨拶を交わし、関わりを持つようにつとめている。	※	今のまま、続けていけばいい関係になっていくと思う。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事や活動に参加して、交流を図るようにしている。  (外部評価) 地域の一員として、祭り等の地域行事に積極的に参加し、保育園や小学校との交流も行っている。近隣の方から季節の野菜や果物が届けられることもある。	※  ※	推進会議等で地域のことを教えていただく。  地域に溶けこんでいくには時間を要するが、管理者を中心に一歩ずつ付き合いを深めていく取り組みで土台を作り、さらに広がりを持たせていくことを期待する。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) まだ取り組めていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 今回が初めてなので、活用はできていないが意義は理解し、活用に向けていきたい。  (外部評価) 管理者は、職員を見守り育てる姿勢を保ち、初めての自己評価に全職員が取り組み、意見を出し合ってまとめあげている。意義の理解等が難しい項目については管理者に尋ね、内容を理解した上で行っている。	※	各項目のねらいや活用方法などを、実践の中でサービスの質向上に結びつけていくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 二ヶ月に一度開かれており、ホーム内のことは報告され、会議の内容も職員会議で報告している。検討しサービスに生かしている。  (外部評価) 利用者が生き生きと過ごすための役割探しについてや、地域ときめ細かい連携をとるための内容等についても討議し、会議録に残しており、有効に取り組んでいることが伺える。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) まだ取り組めていない。  (外部評価) 市担当者とは、運営推進会議やその他さまざまな機会を捉え、サービス向上に関する協議を行う等、連携を深めている。また、防災部局とも防災対策について連絡を取り合っている。	※	介護相談委員さんを通じて話合っていく。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 活用、支援までの理解は出来ていない。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待の意味を理解し、見過ごさないようにつとめる。	※	言葉の虐待をしていないか、制限をしていないか気を配る。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者に直接訴えていただいたので、全職員で話し合い二度と同じ苦情を受けないよう努めている。	※	介護相談委員さんに協力してもらう。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時に日々の暮らしぶりや、ケアプランの説明、金銭出納帳の確認をしてもらう。面会が定期的に来ない家族には、電話や手紙で連絡を取る。  (外部評価) 家族会は結成されていないが、ホームが中心となって家族の会を催し、暮らしぶりなどを報告している。来訪時には声かけをしたり、状況を手紙や電話でも知らせている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受け付け箱を玄関に設置している。  (外部評価) 管理者及び職員は、家族が意見や苦情を相談しやすい雰囲気づくりに努めている。苦情を真摯に受け止め、内容によっては運営推進会議で慎重に討議し、全職員で共有・徹底している。	※	直接言っていたいただいたので、職員全員で話し合いました。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会議等で意見をだしている。	※	職員が話しやすい環境であるよう、心がけたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来る限り対応するようつとめている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努力しているが、困難な場合もある。  (外部評価) 開設から約1年が経過したばかりで、現在のところ職員の異動はない。開設1か月目に離職はあったが、職員の声かけ等で利用者への影響を抑えるよう工夫している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 開設時のスタッフは一ヶ月の研修をうけた。以後は出来ていない。  (外部評価) 管理者は、職員の育成に対して深い理解と情熱を持っており、グループホーム連絡協議会の研修等、各職員にふさわしいテーマの研修会への参加を勧めている。受講後は、研修内容を全職員で共有できるよう報告している。	※	グループホーム協会の研修に参加したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) まだ取り組めていない。	※	法人内研修や、交流から取り組んでいく。
			(外部評価) 同法人が運営するホームとの交流を行ったことはあるが、他法人のグループホームとの交流は今のところ行われていない。	※	外部研修に参加した機会等を捉え、他ホームとの交流に少しずつ取り組んでいくことを期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 年二回の食事会、旅行等計画している。職員会議の時何でも話し合える場をもっている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 資格手当での支給がある。	※	長所を生かして、伸ばしていく。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の事前面談はするが、本人自身から不安なことを聞けていない。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の不安や訴えは、傾聴している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 現在のところ、入居対応の方のみ。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームを見学してもらい。体験のデイサービスや泊まりも利用していただく。  (外部評価) 在宅時にどのような生活を送っていたか等を家族から聞き取り、利用者がホームに馴染めるよう努力している。また、ホームを利用するにあたって宿泊の体験を行うこともある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の思いを知ることにより、その思いに沿った対応・声掛けに配慮している。又生き生きとした生活が送れるよう役割作りの支援をする。  (外部評価) 人生の先輩である利用者から、季節の野菜についてや伝統料理など教わることも多い。職員は地区の盆踊り・祭り・方言・ことわざ・歴史などについて、利用者一人ひとりを生き字引のごとく思っており、感謝の言葉を伝えながら、互いに支えあっている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 双方が何でも相談できる関係を築いていることにより、共に支えていくことができている。	※	面会時や手紙、電話で細かく近況報告をし、情報を共有する。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時はゆっくり過ごしていただいたり、食事をしてもらう。行事への参加をおねがひする。	※	泊まっていたり、外泊をすすめる。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 気軽に面会してもらえるよう配慮している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者との関わりを多く持つよう心がけ、職員が橋渡し役を行い利用者間同士も良い関係が築けるように働きかける。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 定期的に電話連絡等をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で会話、しぐさ、表情などからその人の思いや希望を把握するよう努めている。  (外部評価) 混乱することがないように、落ち着いた状態を維持する余裕がみられる。楽しい会話と笑顔、歌声などで利用者が落ち着けるよう努め、利用者一人ひとりの希望や意見を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査表、本人や家族との会話からこれまでの暮らし方を把握する。	※	面会時間を多くとってもらおうよう、一緒に食事をする。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活リズムを把握し共同生活の中での個々の力を引き出すよう努める。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族の意向をしっかりときく。職員一人ひとりが利用者の立場に立って意見を出し合う。  (外部評価) 理念の中の「尊厳」・「安心」・「生き生きと暮らす」などを日々忘れることなく、一人ひとりの希望が叶う介護を目指すという目的にそった計画作成に取り組んでいる。家族の思いも十分に聞いたうえで取り入れている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 利用者の状態に応じて、その都度計画の見直しをする。  (外部評価) 健康状態の変化による見直しは勿論であるが、小さな変化や意向も見逃すことなく確認し、期日を待たないで見直しの検討を行うこともある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別のファイルを作り身体状況、日々の暮らしぶり、言葉を書き留めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイサービスへの参加。  (外部評価) 「墓参りに行きたい」「衣替えの服を取りに帰りたい」「池の鯉が気になるので見てきたい」「デイサービスの利用者に会いたい」などの様々なニーズにも、臨機応変に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価)		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) まだ取り組めていない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) まだ取り組めていない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医との連携が出来ている。利用前にかかられていた医療機関へは、家族の協力を得て適切に受診される。  (外部評価) 協力医療機関以外の受診については、家族に受診をお願いしている。尿・血液検査は月1回行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医の指示や助言を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) デイサービスの看護師やかかりつけ医の看護師が支援してもらう。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 面会に行き家族や担当医師との情報交換をし、早期に退院できるように努める。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 状態をみながら家族と相談し、かかりつけ医の支持を受ける。  (外部評価) マニュアルは作成していないが、家族の意向を確認し、希望があればホームで終末期を迎えられる体制を整えている。実際に看取りの経験もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族と話し合い、利用者が顔なじみの職員や他の利用者さんと共に、楽しく安心して、寝たきりにせず尊厳のある終末期を遅れるようにする。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 過去的生活環境、支援の内容や注意点について情報を提供してもらう。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員会議時に意識向上を図ると共に利用者の誇りや、プライバシーを損ねない声掛けや、対応に周知徹底する。  (外部評価) 言葉の内容、語調には気をつけている。利用者のプライバシーが漏れることのないよう、全職員への徹底が図られている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせて声をかけ、意思表示が困難な方には、表情などから読み取り尊重するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な一日の流れはあるものの、一人ひとりの思いを尊重し安全に支援している。  (外部評価) 「ホームに居て楽しい」「こうすれば落ち着いて過ごすことができる」「いくつになっても役割や自分の仕事があると思える」よう、一人ひとりの個性を大切に、柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の意思に沿って支援している。	※	家族が希望されれば、スタッフが散髪したり、毛剃りをする。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理、片付けは利用者と共に行っている。食事もおやつも一緒にテーブルを囲んで食べる。  (外部評価) 食事は全員同じものを取っており、形態も力に応じて配慮している。調査時に、利用者が昼食のカレーライスに使うじゃが芋の皮むきをしている場面に出会ったが、食事の準備や後片づけなど、できる人が自然な流れの中で取り組んでいる。	※	苦手な物は出さず、別メニューにする。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の状況に合わせて嗜好の支援をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、気持ちの良い排泄が行えるよう支援する。日中は全員トイレで排泄している。	※	トイレでの排泄を心がける。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者のその日の希望を確認し、入っていただく。  (外部評価) 入浴を拒否する利用者もいるが、寛いだ気分でゆっくり入浴してもらえるよう、職員の声かけ等を工夫して対応している。毎日の入浴が可能で、職員数が揃っている時間帯に支援している。	※	殆どの方が毎日入浴される。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を増やす。生活のリズムを整える。眠剤を服用している方もある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その人に合った作業をお願いし、やっていただいたことに感謝する。  (外部評価) 男性でも進んで役割がこなせるよう、運営推進会議でも討議している。玄関外にベンチを出し、景色を眺めながら季節を感じることもできる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には管理者が預かっているが、手持ちのかたもある。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩・デイサービス・買い物・ドライブ等適宜支援している。  (外部評価) 初詣、花見、紅葉狩り等外出を支援している。かかりつけ医への受診は徒歩で出かけ、帰りに買い物に行くこともある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ドライブに行く。美容院への支援をする。	※	傾聴し、希望をくみ取る。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書く方はいないが、電話の支援はしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時間は決めておらず、いつでも尋ねて来ていただけるように配慮している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全ての職員が禁止の対象となる具体的な行いを、正しく理解していない。	※	家族の了解でベッド柵をしている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中鍵を掛けたことは無い。遅番が退社する時施錠する。  (外部評価) 20時まで鍵はかけていない。台所・食堂・居間が一体化した間取りになっているため利用者の動きの把握がしやすく、職員は安全には十分配慮している。	※	外部に事件等が起きたら臨機応変施錠することもある。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーに配慮しながら、安全確保の為確認をする。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 必要に応じて付き添い使用する。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態に合わせて事故防止に努める。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的に行っていない。救命救急の講習は受けたが、いざという時対応できるか不安である。	※	落ち着いて、連絡が取れるよう日頃より訓練する。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) まだ取り組めていない。  (外部評価) 管理者はグループホームの勤務歴が長く、認知症の対応には熟達しており、今までの経験を活かした訓練を計画している。特に夜間時の対応においては、運営推進会議にて地域の協力を求めていく予定である。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクについては、家族と話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝と入浴前にバイタルチェックを行う、体調の変化があった場合には再検する。状態に応じて医療機関の受診をする。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋をファイルに綴じ、いつでも確認出来る状態にしている。服薬介助や見守り、確認をする。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給を心がける。繊維の多い食品や牛乳を摂取する。日中の活動を増やすも改善見られない時は、適宜下剤を服用する。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に口腔介助するも、無理強いはいしない。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量はチェックし、記録に残す。献立は管理栄養士にみてもらう。状態により水分量もチェックする。  (外部評価) 献立は法人内の管理栄養士にチェックしてもらい、アドバイスを受けてバランスのとれた内容になるよう努めている。水分補給については、記録や申し送りにより職員間で情報を共有している。	※	毎食の汁物、2回のおやつ時のお茶、入浴後の水分補給、夜食時のお茶提供。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症のマニュアルがあり、職員も感染予防に対する認識がある。年間を通してうがい、手洗いをする。共同のタオルは使用しない。玄関に消毒液を置き、入館する際は皆に協力を得る。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具、台所は清潔保持に努め、整理整頓を心がける。食材は新鮮な内に、使いきる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 四季折々の飾り付けを行い、季節感を出す。犬の置物を置いてやさしい雰囲気がある。	※	玄関は広く、鍵もかけていない。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 台所、食堂、居間が一体化しており、利用者の様子がよく分り、声が掛けやすい。  (外部評価) 生活時間の大部分を過ごす居間の天窓には、優しい色のカーテンが飾られている。食卓には季節の花を飾り、季節を感じる工夫がある。心地よい空間の中で、職員は利用者の目線まで腰を落として会話を楽しんでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 食堂や居間で気の合った利用者同士、思い思い過ごされている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 写真や使い慣れた道具、日用品を持ち込まれている。  (外部評価) 職員が居室に入室する際は、必ず本人に了解を得ている。冷蔵庫・テレビ・装飾品など、それぞれ必要な物、大切な品が家族の協力を得て持ち込まれており、居心地のよい居室で落ち着いて生活している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 居室には、エアコン、換気扇が備わっており利用者に合わせた環境作りをしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーの建物で手すりも設置してある。車椅子、歩行器が安全に使用できる。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりに合わせた声かけをしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 海が良く見え開放感がある。木陰は無いが、花を見たり日向ぼっこを楽しむ。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	会話の中から思いや願い、暮らし方の意向を掴むようにする。意思決定や会話が困難な方は表情から理解する。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日二回のお茶の時間に職員と利用者が一緒にテーブルを囲みのんびりと過ごす。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	無理強いせず、一人ひとりの時間を大事にする。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	掃除や料理作り、片付け等に参加することで、やりがいを持ち生き生きとされる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	戸外に行きたいという要望も少なく、立地条件の関係や、利用者の身体状況もあり、③とした。時々デイサービスや日向ぼっこに外へ出る。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェックと月一回の受診介助をする。いつもと変わったことがないか、しっかり観察する。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	表情が穏やかである。笑い声も多い。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にしっかり聴き、納得のいくプランにする。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	通いの場にはなっていない。デイの利用者さんが尋ねて来られたり、友達が来られる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	認知症の勉強会を勧めているが、まだ実行していない。
98	職員は、生き生きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生き生きとまではいかないが、一日一日一生懸命頑張っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの対応を丁寧に、尊厳を持って接している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	連携を蜜にして、何でも言っていたいただいているから。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

南ウイングが満室になって4ヶ月、やっと顔馴染みの関係が出来つつあります。

理念に基づき、その人らしく生き生き暮らすこととは何かを常に考え支援していきたい。出来れば最後までここで暮らしていただきたい。